



休暇速人

休暇管理システム

体験版 セットアップマニュアル (簡易版)

※体験版のセットアップまたは体験版の削除が、本マニュアルの手順通り進められない場合は、「休暇速人 体験版 セットアップマニュアル」を参照してください。

目次

第1章 セットアップ方法

- 1. セットアップの種類..... 1
- 2. 新規インストール手順..... 2
- 3. 本システムを初めて起動する..... 10
- 4. バージョンアップ手順..... 12

第2章 体験版の削除方法

- 1. プログラムの削除..... 16
- 2. データベースの削除..... 18

付録

- 付録1. 「sqlserver.exe」の場所の確認..... 24

【ご注意】

当マニュアルは「休暇速人」をもとに作成しています。

「休暇速人mini」をご利用のお客様は、当マニュアルの表記やサンプル画面が実際のもので違う場合があります。

お手数ですが、「休暇速人」を「休暇速人mini」に替えてご参照ください。

第1章 セットアップ方法

1. セットアップの種類

新規にインストールされる場合と以前のバージョンを既にお使いの場合ではセットアップの手順が異なります。

- 新規にインストールされる場合 → 第1章 2. 新規インストール手順 (P2) へ移動
- 以前のバージョンをお使いの場合 → 第1章 4. バージョンアップ手順 (P12) へ移動

※以前のバージョンをお使いの場合は、最新版への更新処理を行います。

Point!

Windows の再起動を要求されたら

セットアップ中に Windows の再起動を要求するメッセージが表示された場合は、再起動を行ってから、引き続きセットアップ処理を行ってください。

Point!

セットアップ実行中にエラーが発生した場合

「休暇速人 体験版 セットアップマニュアル」の「付録1. インストールが上手くいかない場合は」を参照してください。

2. 新規インストール手順



必要システム環境をご確認ください。
特に **Windows XP の場合は Service Pack 3 以降が必要**です。
記載のない環境にインストールされると予期せぬ動作を起こす可能性があります。

また、すでに製品版がインストールされているコンピューターに、体験版をインストールすることはできません

1. コンピューターに管理者権限のユーザーでログオンします。
2. ダウンロードしたファイルを解凍してできたインストールフォルダーを開いてファイルを表示します。

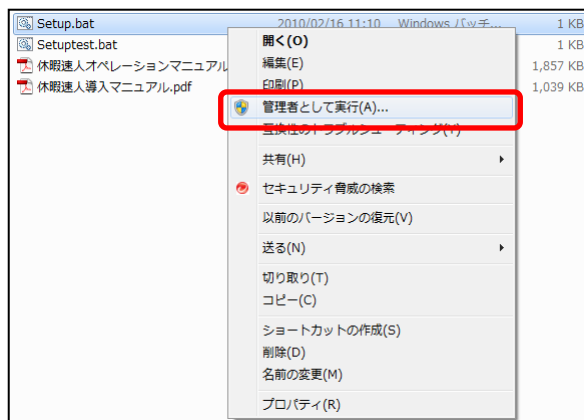


3. ダウンロードしたファイルを解凍してできたインストールフォルダーの中にある「Setup.bat」を実行してください。



【Windows 7 / VISTA の場合】

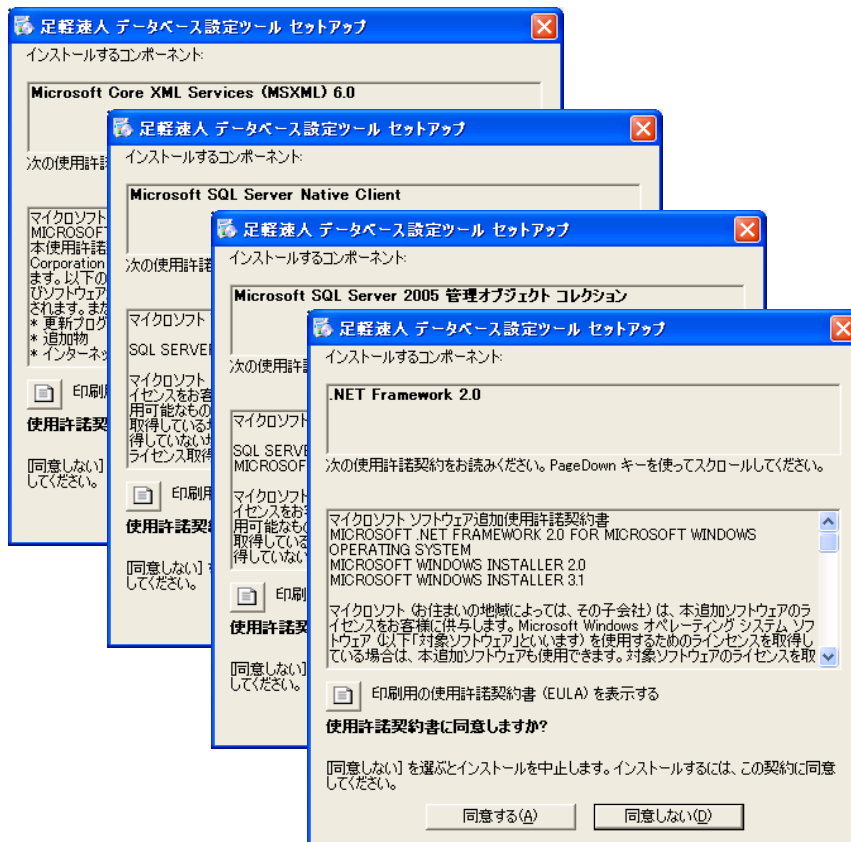
「Setup.bat」を右クリックして表示されたドロップダウンメニューから「管理者として実行 (A)」をクリックして実行してください。



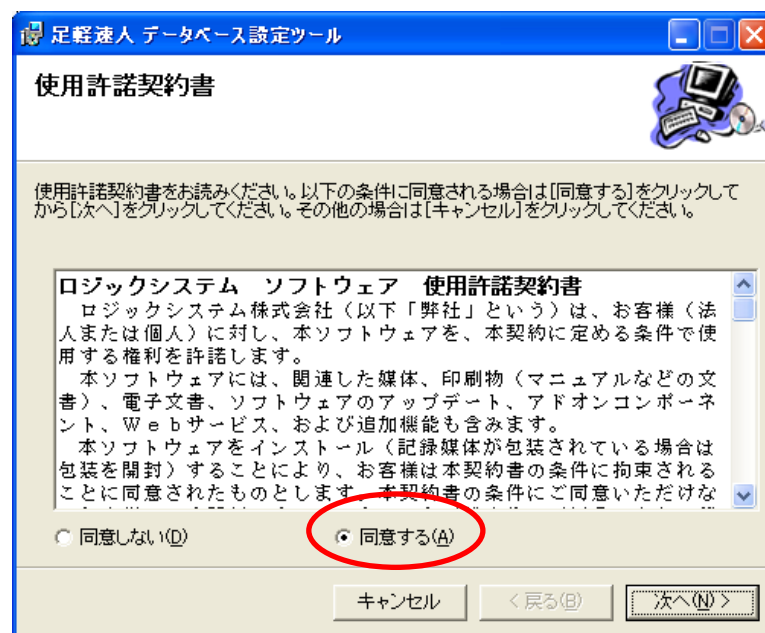
※セットアップ中に「ユーザーアカウント制御」のメッセージが表示されることがあります。
メッセージが表示された場合は、画面にしたがって適切な操作を行ってください。

- 4 お使いのコンピューターに必要なコンポーネントがインストールされていない場合、次のような画面が表示されます。

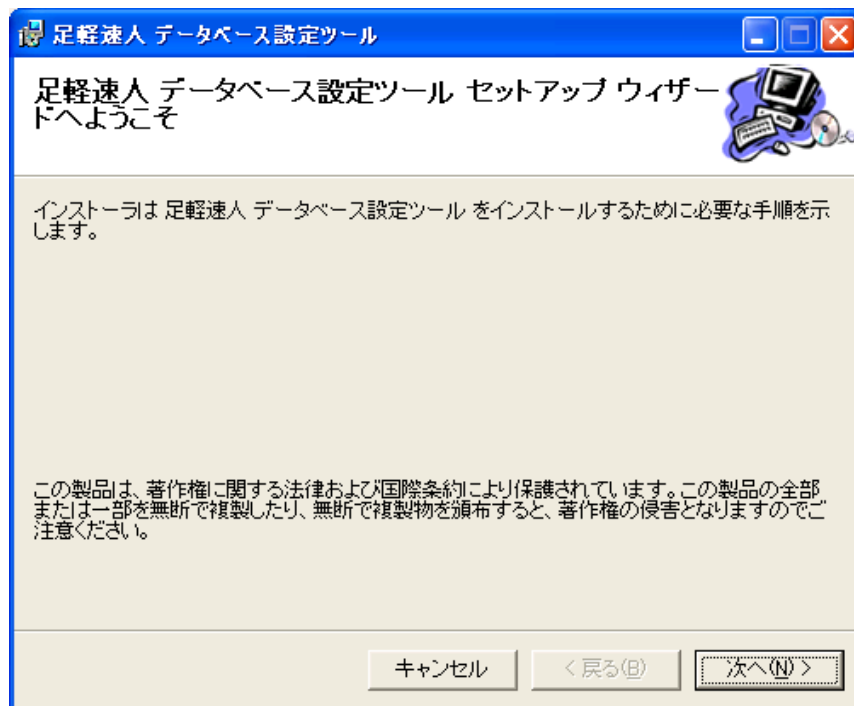
メッセージが表示された場合は、指示に従って内容をご確認のうえ、**同意する** ボタンをクリックしてください。**同意しない** ボタンをクリックするとセットアップは中止されます。



- 5 「使用許諾契約書」が表示されます。内容をお読みになり、同意される場合は「同意する」にチェックを付けて**次へ** ボタンをクリックします。

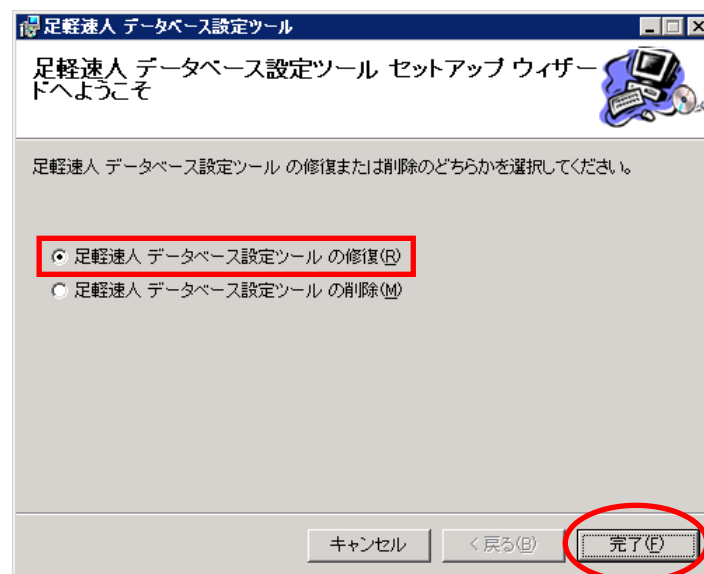


- 6 [足軽速人 データベース設定ツール セットアップウィザードへようこそ]が表示されます。終了するまで画面の指示にしたがってセットアップ作業を完了させてください。

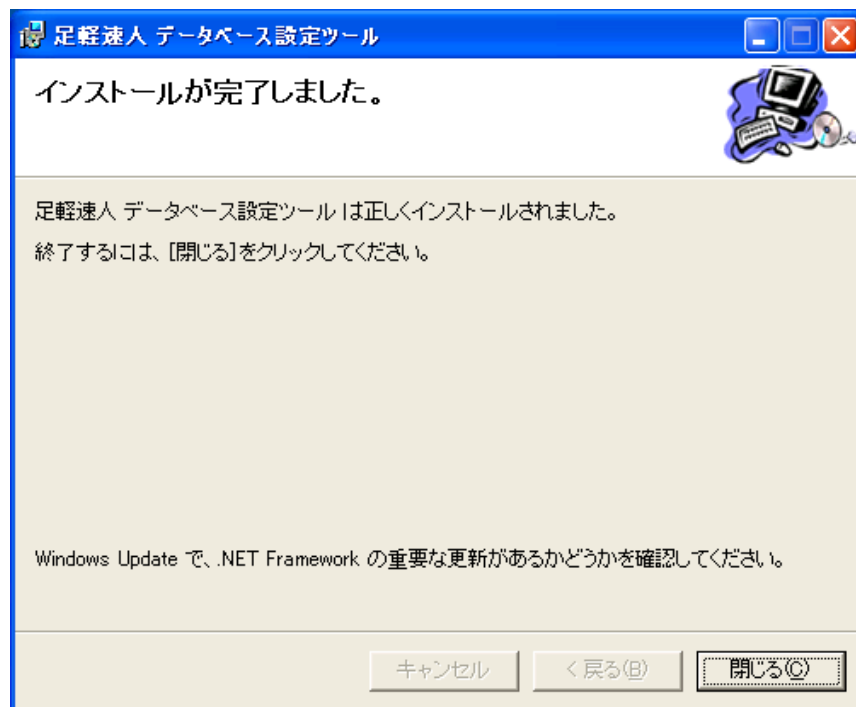


【注意】 セットアップを再度実行されている場合、すでに「休暇速人」または「休暇mini」がインストールされているコンピューターにセットアップする場合

セットアップを一度中断し、再度実行された場合やすでに「休暇速人」または「休暇mini」がインストールされているコンピューターにセットアップする場合、下記のような画面が出る場合がありますが、その場合は「足軽速人 データベース設定ツールの修復」を選択し完了ボタンをクリックしてください。



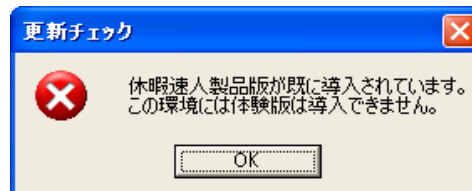
7 処理が正常に終了すると、下記画面が表示されます。



閉じる ボタンをクリックします。

以上でデータベース設定ツールのインストール処理が終了しました。

【注意】 すでに製品版がインストールされているコンピューターに、体験版をインストールしようとすると、以下のメッセージが表示され、中断されます。



8 「データベースセットアップ」が表示されます。

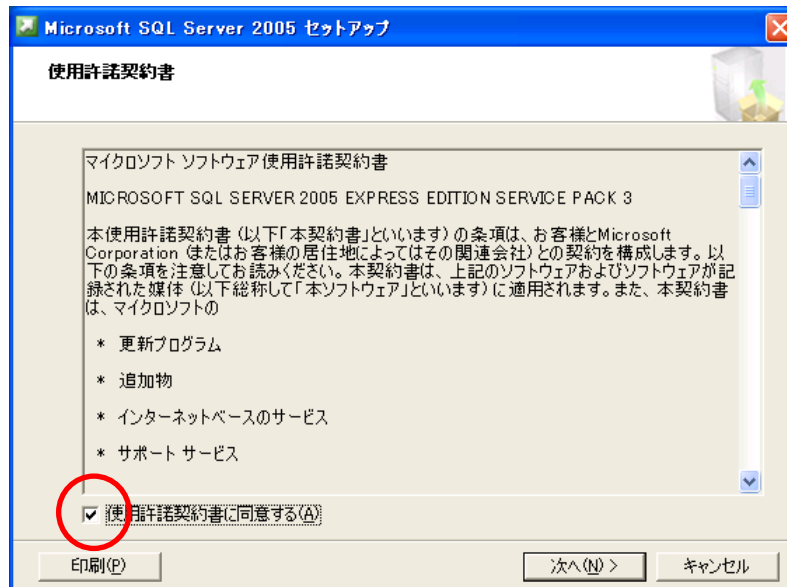
「実行」ボタンをクリックします。



「データベースセットアップ」が表示されない場合は、背面に隠れている場合があります。ご確認ください。

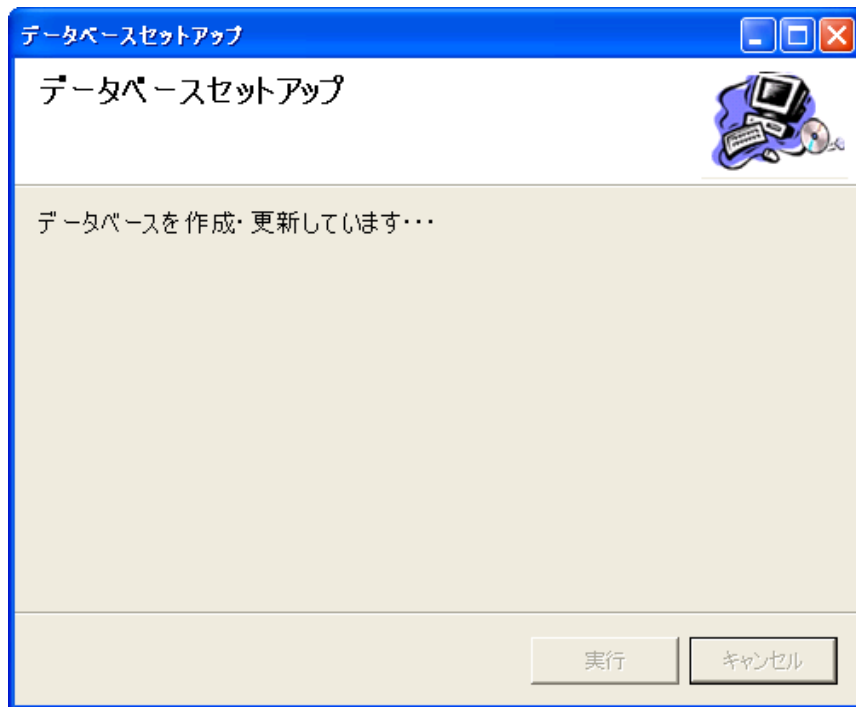
9 しばらくすると「Microsoft SQL Server 2005 セットアップ」が開始されます。

「使用許諾契約書に同意する」にチェックを入れて「次へ」ボタンをクリックしてください。



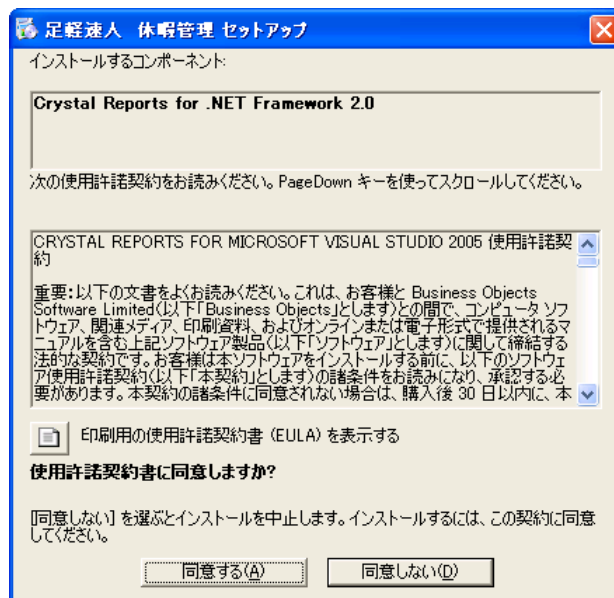
「SQL Server 2005 Express Edition」のセットアップウィザードが引き続き行われます。終了するまで画面の指示にしたがってセットアップ作業を完了させてください。

10 続いて [データベース作成・更新処理] が行われます。

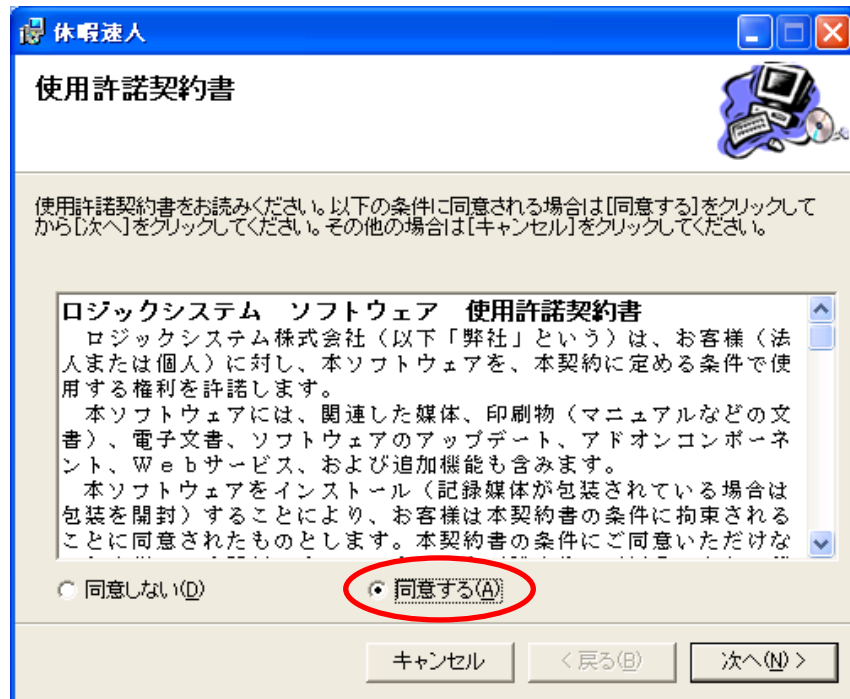


しばらくするとクライアントプログラム (休暇速人) のセットアップが開始されます。お使いのコンピューターに必要なコンポーネントがインストールされていない場合、次のような画面が表示されます。

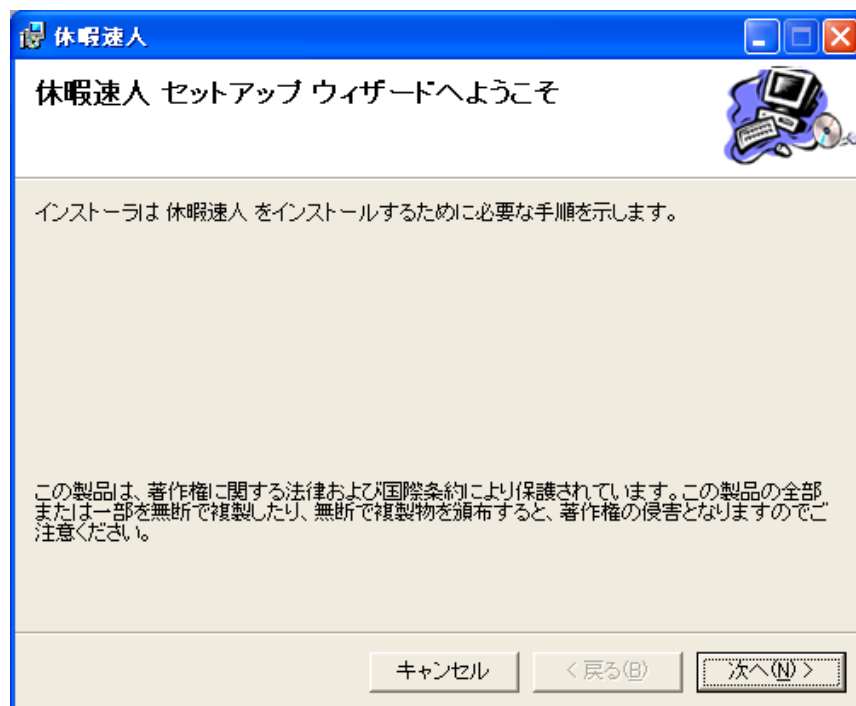
メッセージが表示された場合は、指示に従って内容をご確認のうえ、**同意する** ボタンをクリックしてください。**同意しない** ボタンをクリックするとセットアップは中止されます。



- 1 1 「使用許諾契約書」が表示されます。内容をお読みになり、同意される場合は「同意する」にチェックを付けて「次へ」ボタンをクリックします。

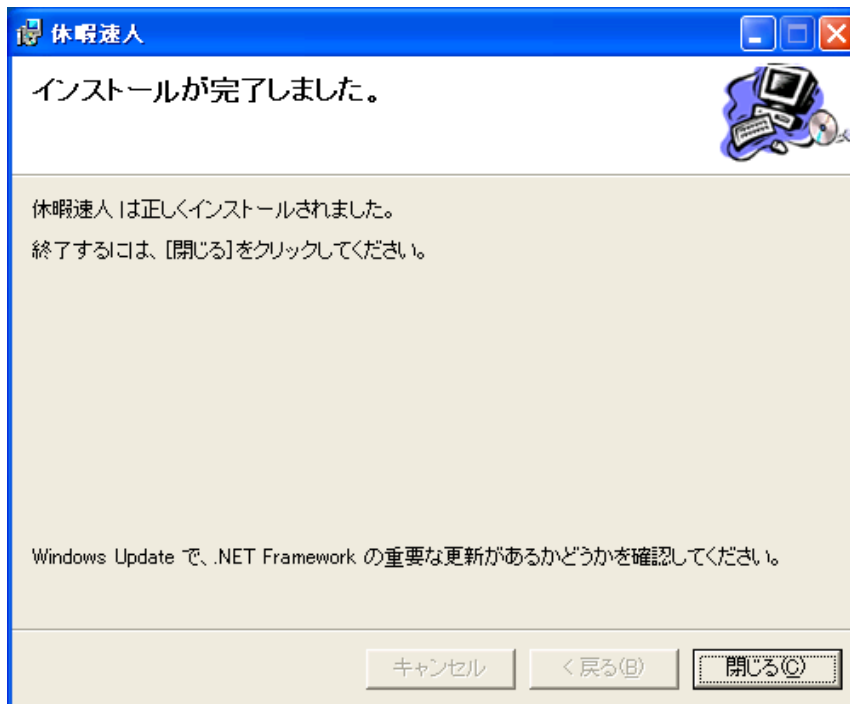


- 1 2 「休暇速人 セットアップウィザードへようこそ」が表示されます。終了するまで画面の指示にしたがってセットアップ作業を完了させてください。

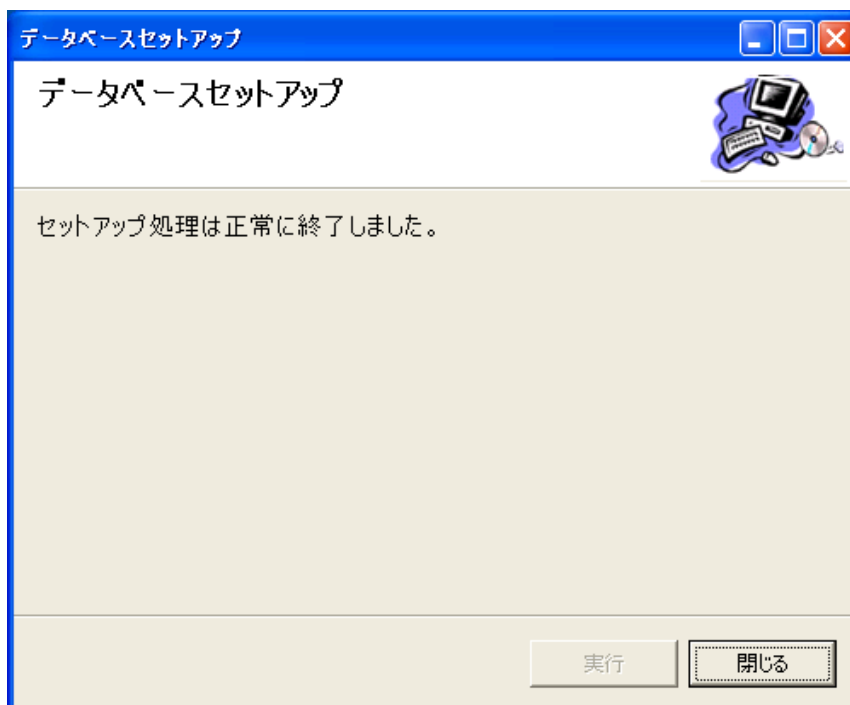


1 3 正常終了した場合、下記の画面が表示されます。

閉じる ボタンをクリックします。



1 4 正常終了した場合、下記の画面が表示されます。



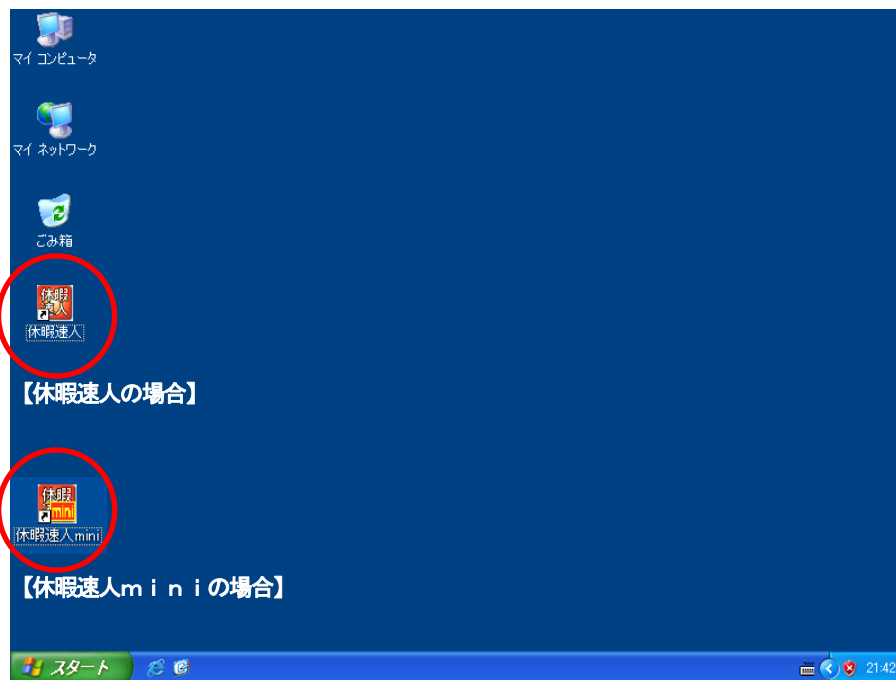
閉じる ボタンをクリックします。

以上で新規インストール手順は終了です。

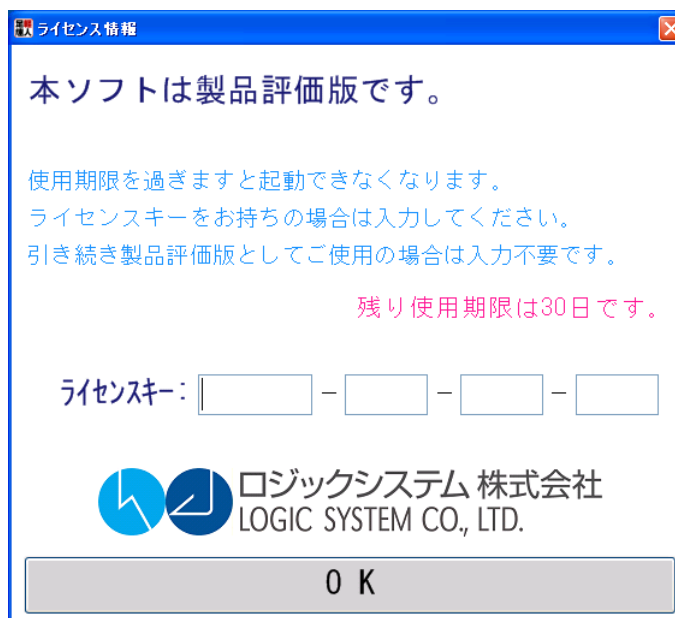
3. 本システムを初めて起動する

- 1 【休暇速人】の初回起動時の設定を行います。

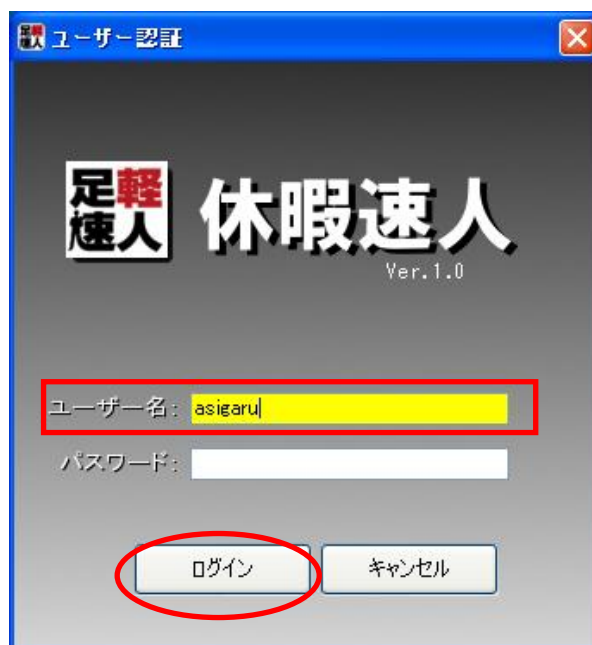
デスクトップに作成された【休暇速人】のショートカットをダブルクリックするか、
[スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] - [足軽速人] - [休暇速人] から
[休暇速人] をクリックして【休暇速人】を起動します。



- 2 【ライセンス情報】画面が表示されます。そのまま **OK** ボタンをクリックしてください。



- 3 続いて [ユーザー認証] 画面が表示されます。
ユーザー名に「asigaru」と入力し、**ログイン** ボタンをクリックします。



Point!

セットアップ時、ユーザー名「asigaru」にはパスワードが設定されていません。
運用開始前に任意のパスワードを設定されることをお勧めします。
パスワードの設定方法は「休暇速人 オペレーションマニュアル」を参照ください。

- 4 以上で本システムを初めて起動する設定は終了です。

4. バージョンアップ手順

すでに以前のバージョンをご利用の場合で、プログラムを最新版に更新するための手順になります。



データ保護のため、最新版に更新する前に

必ずバックアップ処理を行ってください

また、すでに製品版がインストールされているコンピューターに、体験版をインストールすることはできません

- 1 コンピューターに管理者権限のユーザーでログオンします。
ダウンロードしたファイルを解凍してできたインストールフォルダーを開いてファイルを表示します。

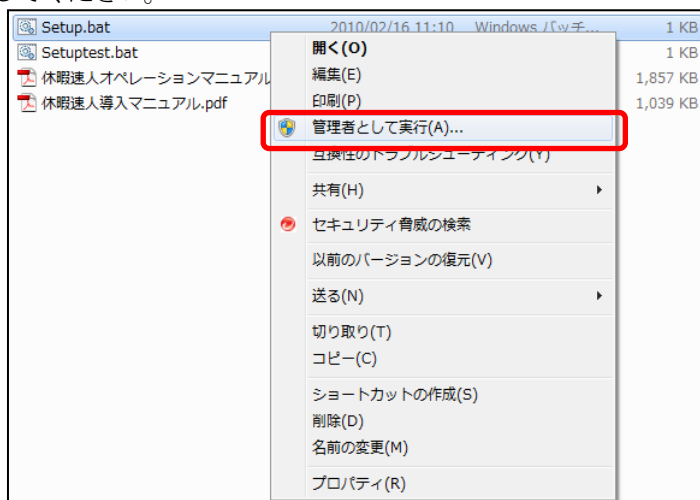


- 2 「Setup.bat」を実行してください。



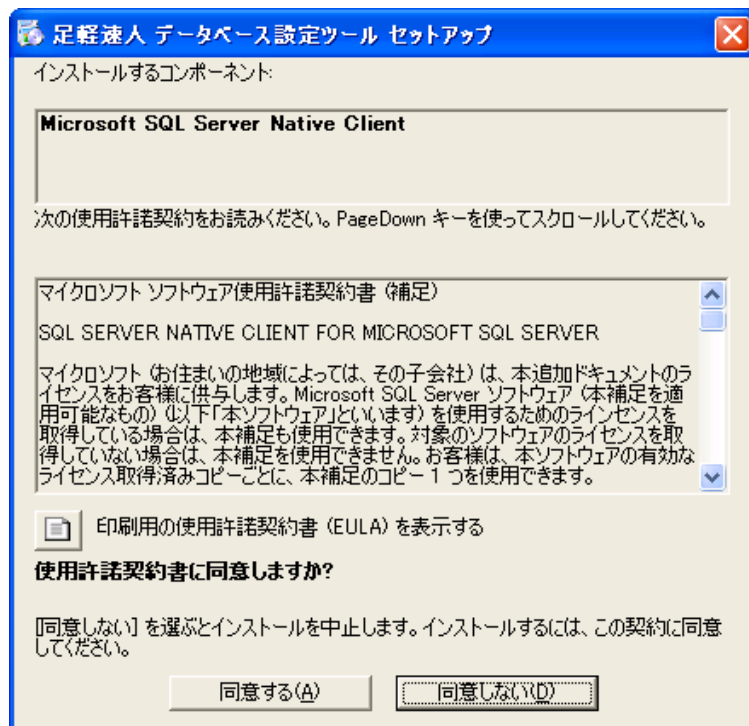
【Windows 7 / VISTA の場合】

「Setup.bat」を右クリックして表示されたドロップダウンメニューから「管理者として実行 (A)」をクリックして実行してください。

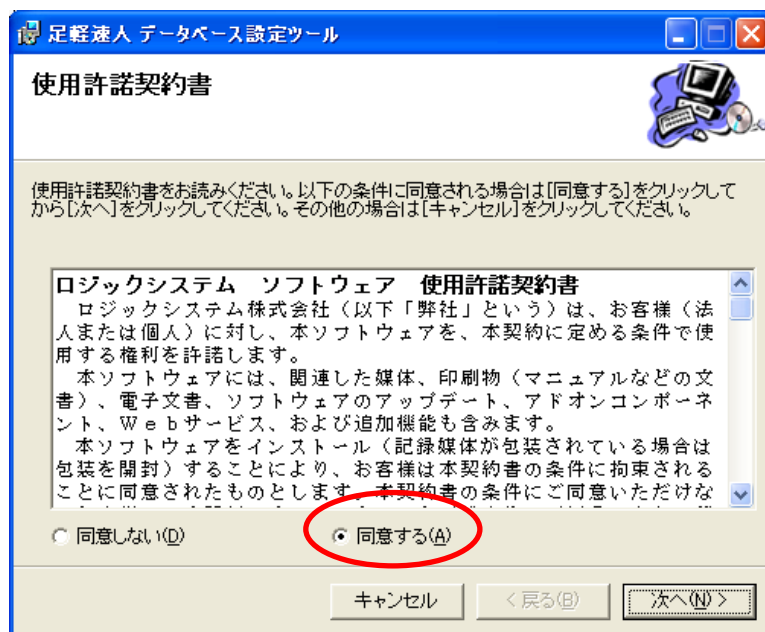


※セットアップ中に「ユーザーアカウント制御」のメッセージが表示されることがあります。
メッセージが表示された場合は、画面にしたがって適切な操作を行ってください。

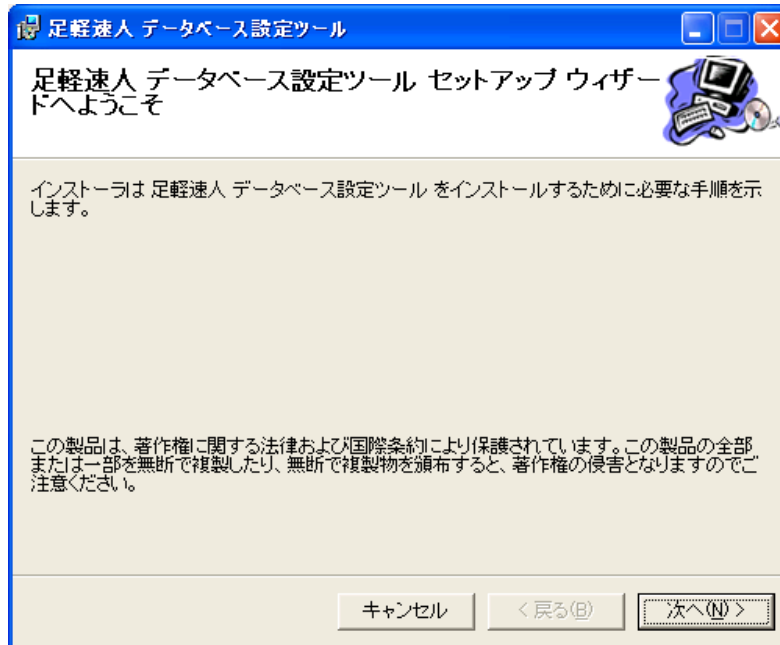
- 3 お使いのコンピューターに必要なコンポーネントがインストールされていない場合、次のような画面が表示されます。
- メッセージが表示された場合は、指示に従って内容をご確認のうえ、**同意する** ボタンをクリックしてください。**同意しない** ボタンをクリックするとセットアップは中止されます。



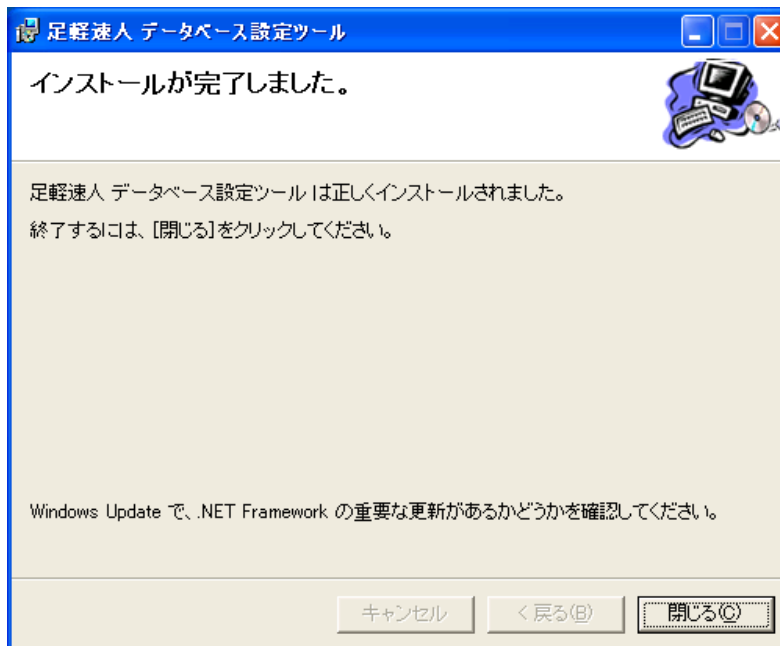
- 4 「使用許諾契約書」が表示されます。内容をお読みになり、同意される場合は「同意する」にチェックを付けて**次へ** ボタンをクリックします。



- 5 [足軽速人 データベース設定ツール セットアップウィザードへようこそ] が表示されます。終了するまで画面の指示にしたがってセットアップ作業を完了させてください。



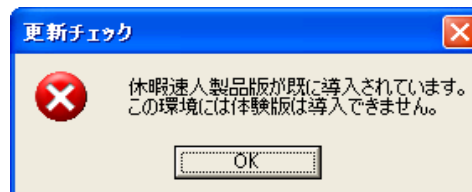
- 6 処理が正常に終了すると、下記画面が表示されます。



閉じる ボタンをクリックします。

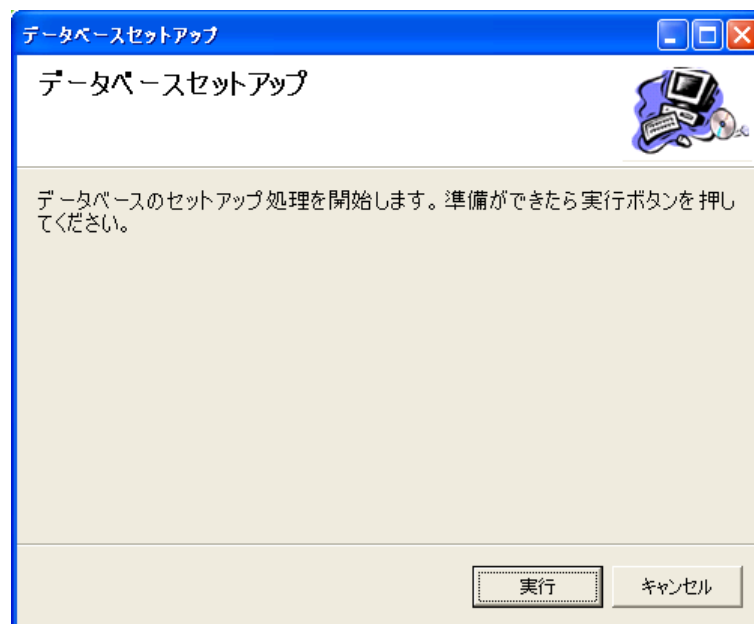
以上でデータベース設定ツールのインストール処理が終了しました。

【注意】すでに製品版がインストールされているコンピューターに、体験版をインストールしようすると、以下のメッセージが表示され、中断されます。



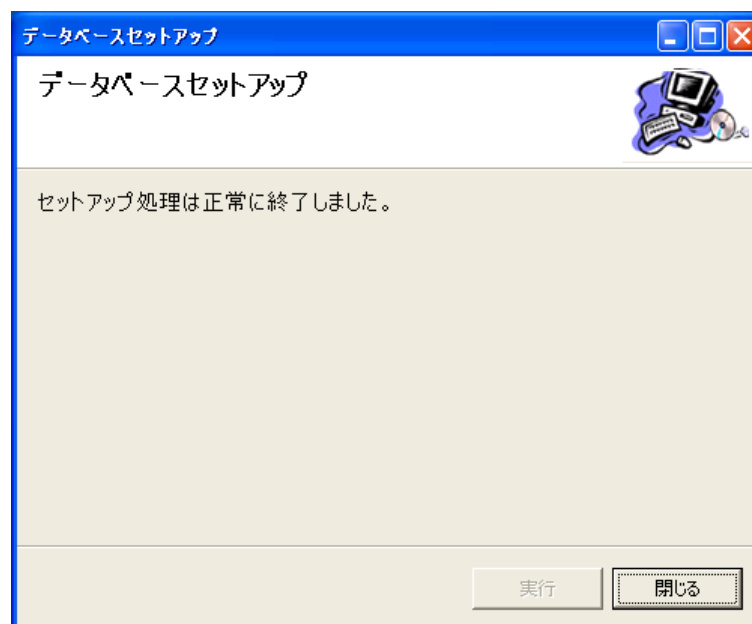
7 次に [データベースセットアップ] が表示されます。

実行 ボタンをクリックします。処理が終了するまでしばらくお待ちください。



[データベースセットアップ] が表示されない場合は、背面に隠れている場合があります。ご確認ください。

9 処理が正常に終了すると、下記画面が表示されます。



閉じる ボタンをクリックします。

以上で更新インストール手順は終了です。

第2章 体験版の削除方法



体験版をインストールした時と同様、インストールを行った状況によって削除手順が違います。
インストール時の状況により削除方法を切り分けてください。

- ・ SQL Server がインストールされていないコンピューターだった場合
もしくは
すでに SQL Server がインストールされているが ASIGARU インスタンス (※1)はないコンピューターだった場合
→ 「1. プログラムの削除」処理および「2. データベースの削除」処理を行ってください。
- ・すでに SQL Server がインストールされており、
ASIGARU インスタンス (※1)も存在するコンピューターだった場合
→ 「1. プログラムの削除」処理のみを行ってください。
※「2. データベースの削除」処理をする必要はありません。

【休暇速人miniの場合】

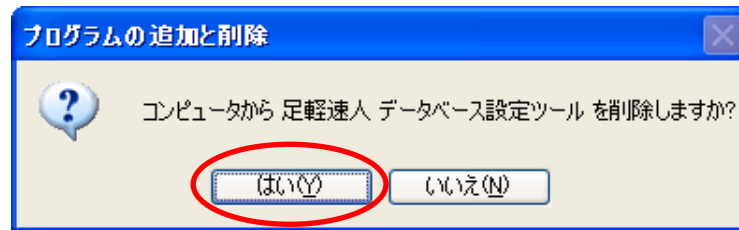
(※1) 「ASIGARU インスタンス」を「ASIGARUMINI インスタンス」に読み替えてください。

1. プログラムの削除

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] をクリックします。
[足軽速人 データベース設定ツール] を選択し、**削除** ボタンをクリックします。



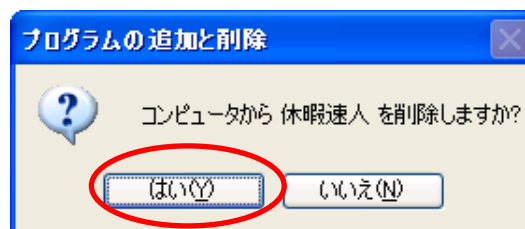
- 2 確認メッセージが表示されるので「はい」をクリックしてください。



- 3 [休暇速人] (※1)を選択し、「削除」ボタンをクリックします。
確認メッセージが表示されるので「はい」をクリックしてください。

【休暇速人miniの場合】

(※1)「休暇速人mini」を選択してください。



- 4 以上でプログラムの削除は終了です。

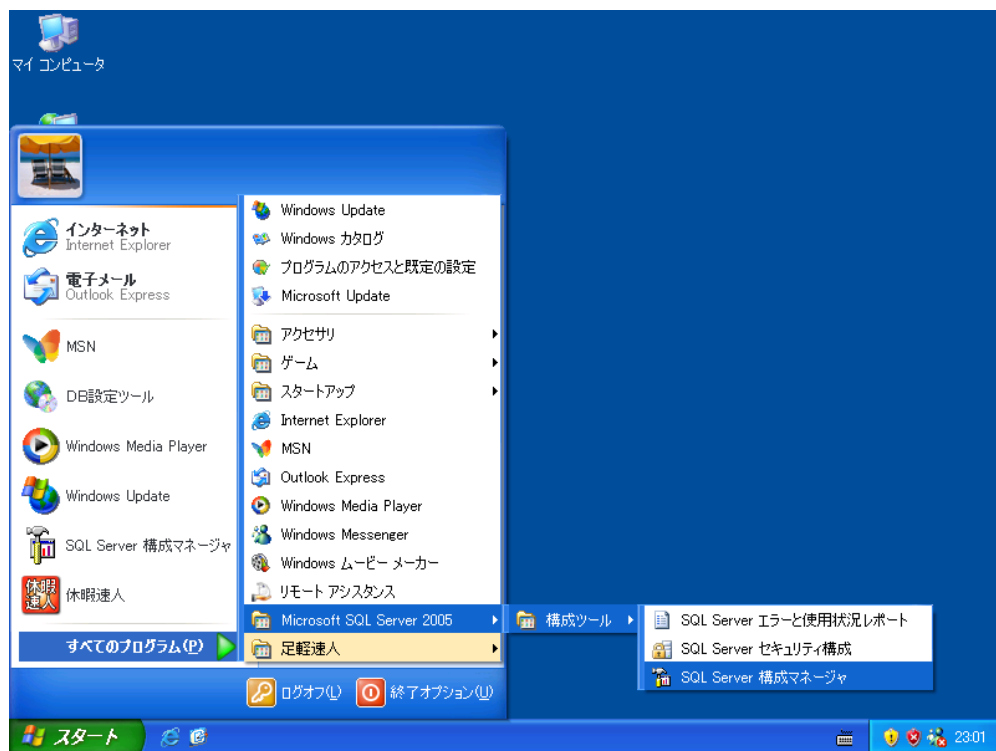
2. データベースの削除

- 1 削除するデータベースを使用しているすべてのクライアントプログラムが終了していることを確認してください。
- 2 付録1. 「sqlserver.exe」の場所の確認 (P24) の手順を行い、「sqlserver.exe」プログラムの場所を確認して、忘れないようにメモしておいてください。(手順1 1で使用します。)

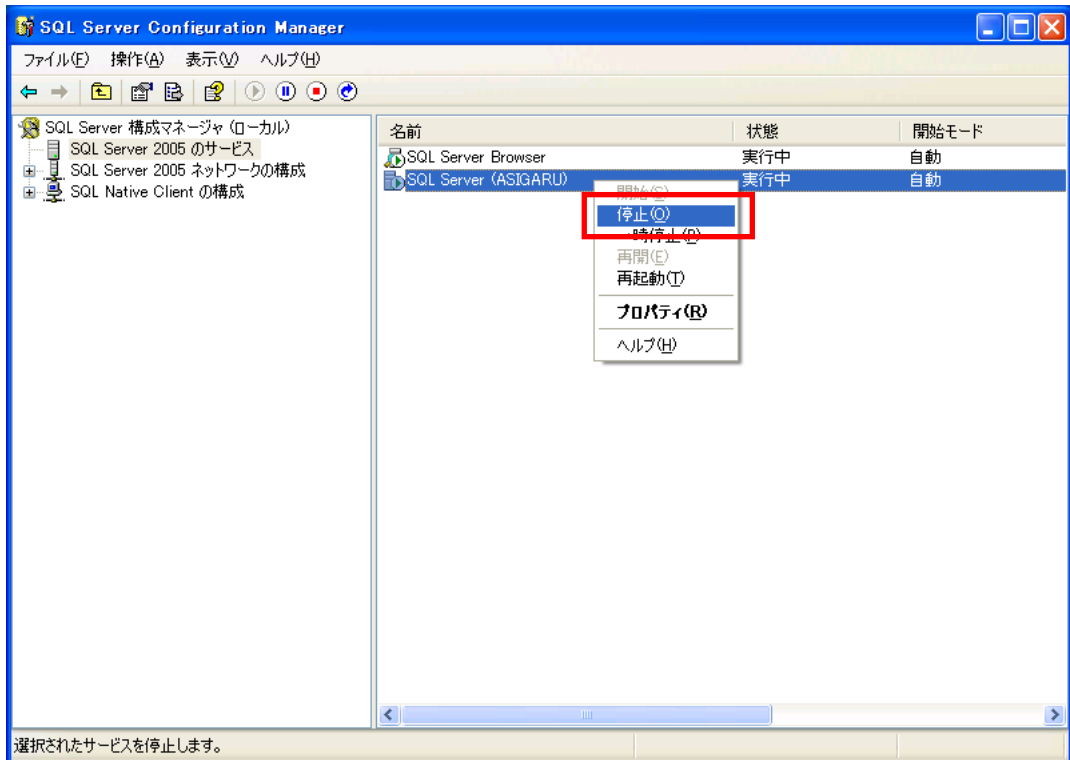
※標準の環境では下記フォルダになります。

c:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL.1\MSSQL\Binn\sqlservr.exe

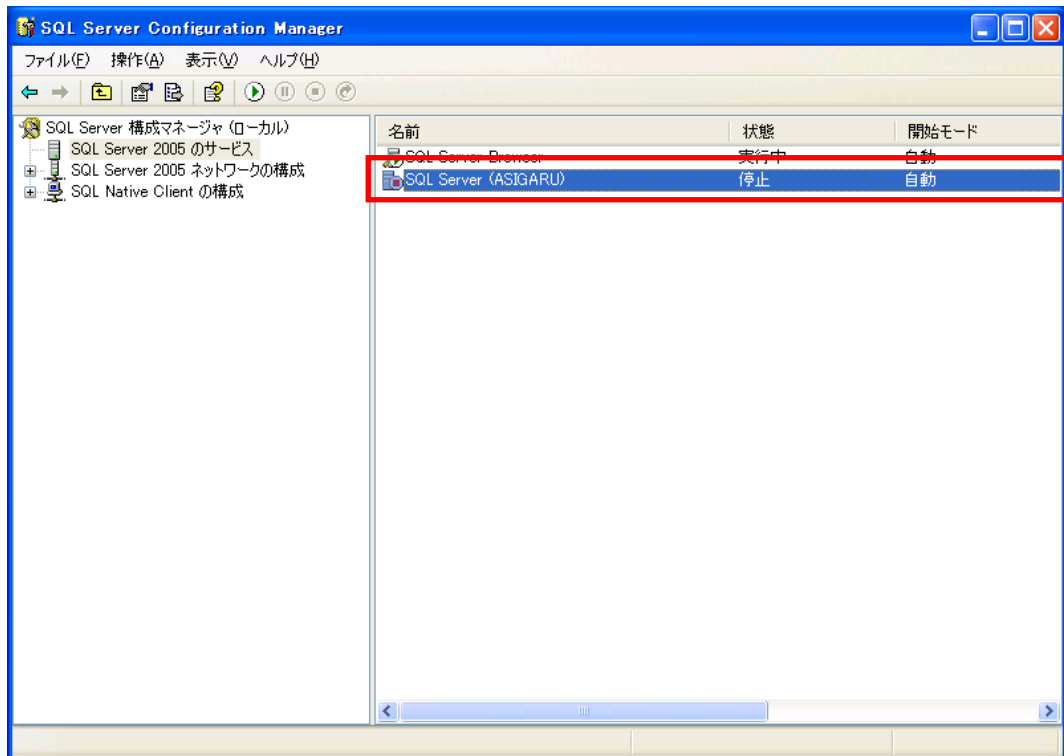
- 3 [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] - [Microsoft SQL Server 2005] - [構成ツール] から [SQL Server 構成マネージャ] を選択します。



- 4 [SQL Server 2005 のサービス] を選択し、右側で [SQL Server (ASIGARU)] (※1) を右クリックし、表示されたメニューから [停止] をクリックします。



- 5 [SQL Server (ASIGARU)] (※1)が停止したことを確認後、右上の[X]をクリックして画面を閉じてください。



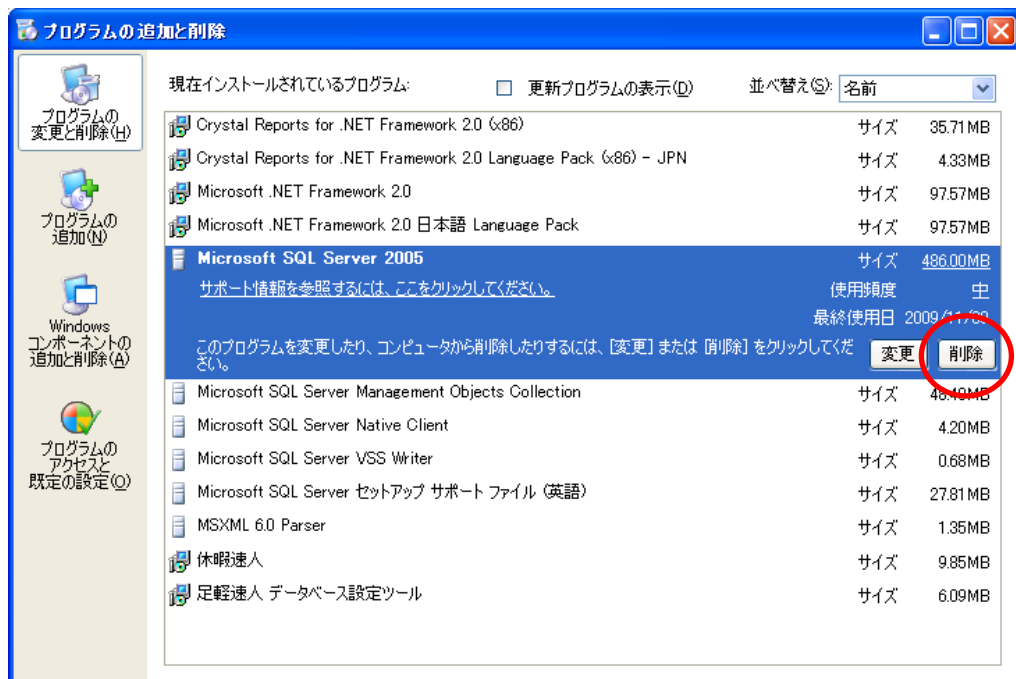
【休暇速人miniの場合】

(※1) [SQL Server (ASIGARU)] を [SQL Server (ASIGARUMINI)] に読み替えてください。

6 [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] をクリックします。

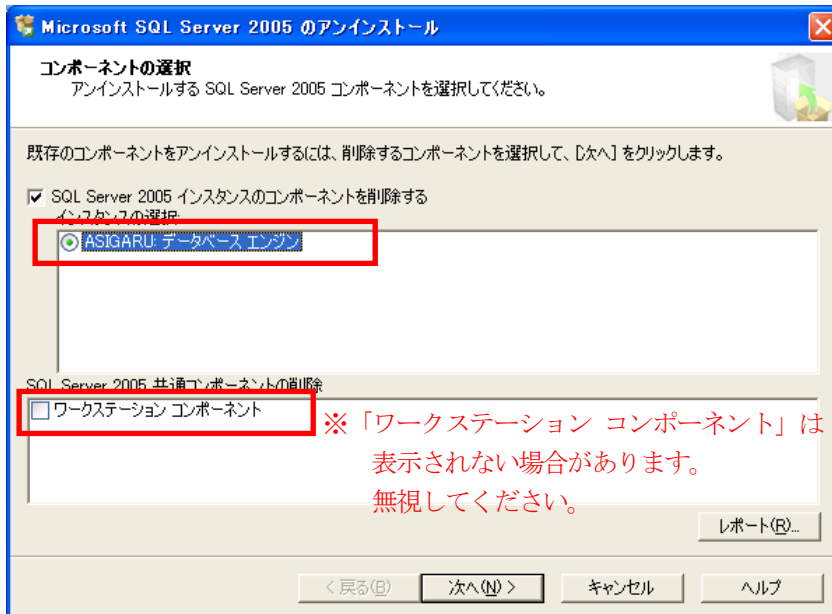


7 現在インストールされているプログラム一覧から「Microsoft SQL Server 2005」を選択し「削除」ボタンをクリックします。

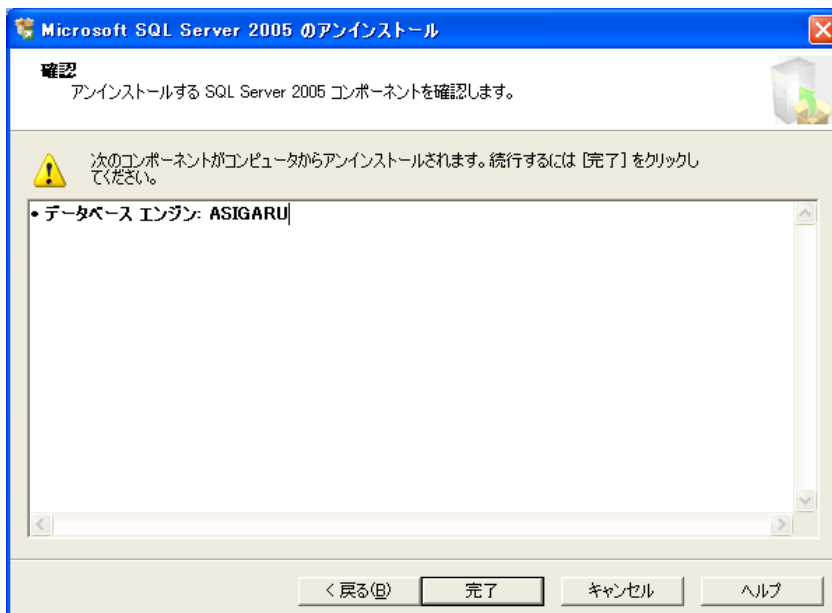


- 8 [インスタンスの選択] 一覧より「ASIGARU データベースエンジン」(※1)にチェックをつけ「次へ」ボタンをクリックします。

([インスタンスの選択] 一覧に他のインスタンスがない場合のみ [SQL Server 2005 共通コンポーネントの削除] 一覧より「ワークステーションコンポーネント」にチェックをつけます。)



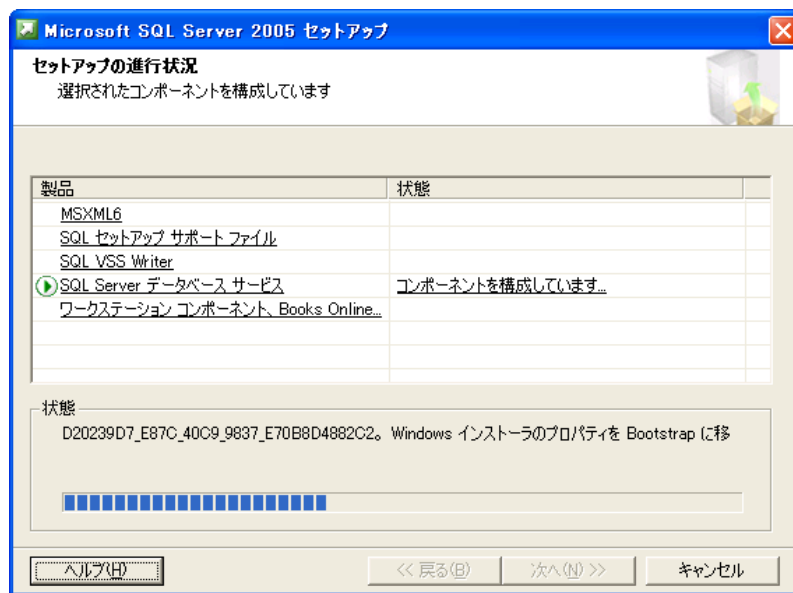
- 9 アンインストールの確認画面が表示されます。そのまま「完了」ボタンをクリックします。



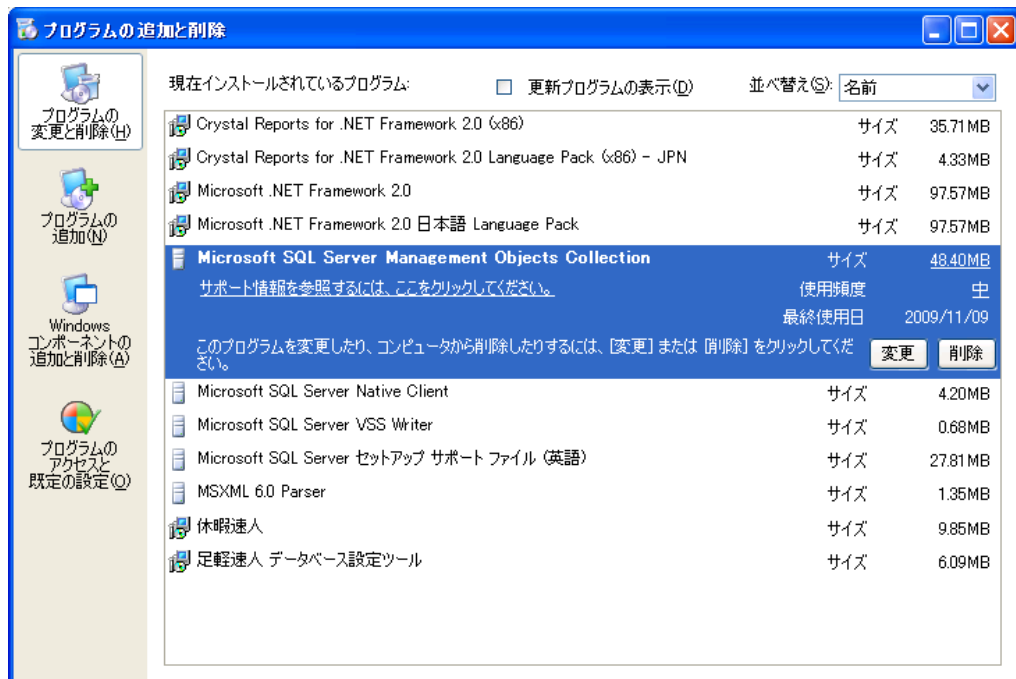
【休暇速人miniの場合】

(※1) 「ASIGARU データベースエンジン」を「ASIGARUMINI データベースエンジン」に読み替えてください。

1 0 削除処理が開始されます。



1 1 削除処理が完了すると、元の [プログラムの追加と削除] 画面へ戻ってきます。



1 2 データベースの実体ファイルを削除します。

手順2で確認したファイル名の¥Binn を¥Data に読み替えた場所にデータベースファイル「AGJING0001.mdf」「AGJING0001.ldf」がありますので、ファイルを削除してください。

標準の環境例)

プログラムのファイル名

c:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL.1¥MSSQL¥Binn¥sqlservr.exe

データベースファイルがある Data フォルダ

c:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL.1¥MSSQL¥Data

下記2ファイルを削除します。



1 3 ASIGARU インスタンス(※1)以外にもインスタンスがある場合はこれでデータベースの削除処理は終了です。

ASIGARU インスタンス(※1)のみだった場合は引き続き、不要なプログラムを選択して削除処理を行ってください。

【休暇速人miniの場合】

(※1) 「ASIGARU インスタンス」を「ASIGARUMINI インスタンス」に読み替えてください。

本体験版使用プログラム

Crystal Reports for .NET Framework 2.0 (x86)

Crystal Reports for .NET Framework 2.0 Language Pack (x86)

Microsoft SQL Server Management Objects Collection

Microsoft SQL Server Native Client

Microsoft SQL Server VSS Writer

Microsoft SQL Server セットアップ サポート ファイル (英語)

MSXML 6.0 Parser

Microsoft .NET Framework 2.0

Microsoft .NET Framework 2.0 日本語 Language Pack



最初から入っていたものは削除しないでください。

よくわからない場合はシステム管理者にお問い合わせください。

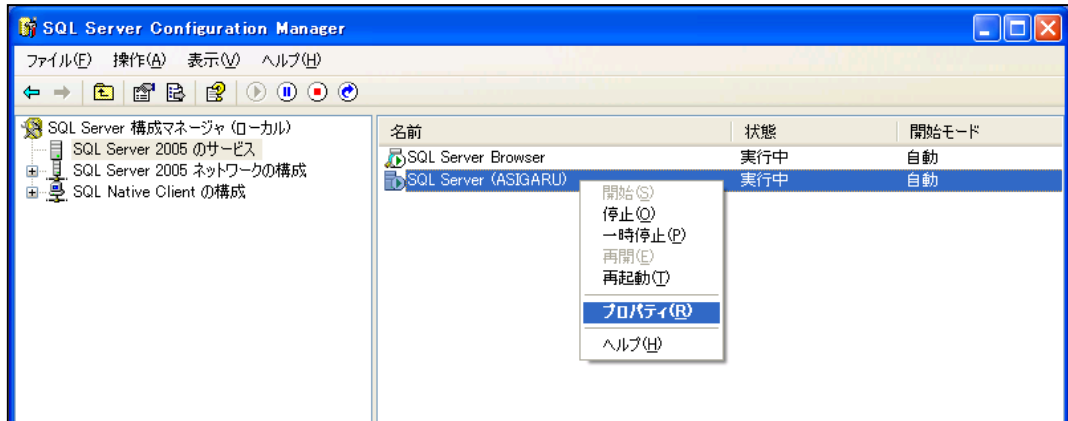
「Microsoft .NET Framework 2.0」の削除処理は最後に行ってください。
(先に削除処理すると他のプログラム削除ができなくなる場合があります)

付 録

付録 1. 「sqlserver.exe」の場所の確認

< 「sqlserver.exe」の場所の確認 >

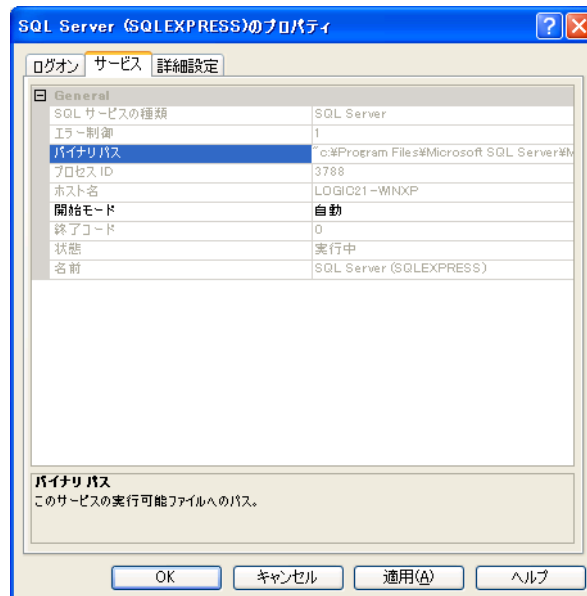
- 1) 「SQL Server Configuration Manager」ウィンドウの「SQL Server (ASIGARU)」(※1)を右クリックして、表示されたメニューから「プロパティ」をクリックします。



【休暇速人miniの場合】

(※1) 「SQL Server (ASIGARU)」を「SQL Server (ASIGARUMINI)」に読み替えてください。

- 2) 「サービス」タブをクリックし、「バイナリパス」を確認して、この場所をメモしておきます。



この表示内容の「**“**」で囲まれた部分が「sqlserver.exe」の場所です。

パスが長い場合は、クリックしてキーボードの **→** キーを押すと右端まで見ることができます。

例えば、既定のインストール先の場合は

「c:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL.1\MSSQL\Binn\sqlservr.exe」と表示されます。

■改訂履歴

2009/11/24 …	初版
2010/01/04 …	2版 セットアッププログラム変更による改訂
2010/02/17 …	3版
2010/04/05 …	4版
2010/06/01 …	5版

■著作・発行



— 禁 無 断 転 載 —